

会 議 録

1 会議名

第2回上越市自立支援協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 上越市障害者福祉計画の改定に向けた検討（現状と課題）について

3 開催日時

平成29年7月5日（水）午後3時30分から

4 開催場所

教育プラザ 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：青木美代子、平原朝子、丸山ひろみ、難波祐子、丸田明久、田邊信、
金井妙、藤澤典子、福山卓、藤田宏禔、山川美香、新保由美、
笠原芳隆、渡辺晶恵、藤田賢一郎（代理）、横山新太郎

・事務局：健康福祉部 八木部長、福祉課 小林副課長、藤井係長、大島主任

8 発言の内容

(小林副課長) ただいまより、上越市自立支援協議会の第2回会議を開催します。

皆様には、ご多用の中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。私は、この会の前段の進行を務めます、上越市福祉課副課長の小林でございます。よろしくお願いいたします。

本日の日程であります。お手元に配布いたしました次第をご覧ください。本日は、議題として「上越市障害者福祉計画の改定に向けた検討（現状と課題）」についてご協議いただくこととしております。会議は概ね1時間30分程度を予定しております。議事に先立ち、八木健康福祉部長がご挨拶を申し上げます。

(八木部長) 7月に入りまして大雨があり、市では7月1日に災害対策本部を設置し

ました。今年の1月には市内40法人97施設の福祉避難所の締結がありましたが、今回障害者の方2名が避難されました。今後はより実効性の高いものになるようにと考えております。今日は障害者福祉計画の策定に向けて現状と課題をおさらいし、皆様から忌憚のないご意見を頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

(小林副課長) ありがとうございます。それでは次に、次第の2議題に移ります。

本日の出席者は、委員20名中14名で、上越市自立支援協議会設置要綱第6条第3項の規定を満たしておりますので、ご報告いたします。

なお、本日の議題は、障害者福祉計画の改定に関することであるため、専門部会長には出席いただいております。出席者につきましては、名簿の配布によりご紹介に代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

ここからは、上越市自立支援協議会設置要綱第6条第2項の規定により、笠原会長に進行していただきます。笠原会長、よろしくお願いいたします。

(笠原会長) それでは、私のほうで議題を進めさせていただきます。議題の(1)上越市障害者福祉計画の改定に向けた検討(現状と課題)について、事務局から説明をお願いします。

(藤井係長) 上越市福祉課、福祉第一係長の藤井と申します。よろしくお願いいたします。上越市障害者福祉計画の改定に向けた検討(現状と課題)について説明いたします。

(別紙資料P1～P3)により説明

(笠原会長) ありがとうございます。ここまでの事務局の説明について、ご意見・ご質問などがありましたら、挙手のうえ、ご発言をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

(丸山委員) 質問です。1ページ目の障害福祉サービスの利用者数は平均値でしょうか。それと共同生活援助の部分は定員数が211で利用者が184と書いてあ

ると、空いているように思えるのですが、上越市民だけの数値でしょうか。逆に施設入所支援は定員数が 170 で利用者が 211 ですが、市外の施設を利用している上越市民の数も含めているのでしょうか。

(藤井係長) ご指摘の通りで、記載が不足していて失礼いたしました。こちらは各年度の平均値です。定員数については上越市内施設のキャパシティです。利用者については上越市民の数です。必ずしもグループホームが空いている状況を表している訳ではありません。施設入所支援は上越市内市外の施設を利用している人数なので 100%を超えています。

(丸山委員) 2 ページの施設入所者の削減数について、平成 29 年時点（第 4 期）は目標値が 0 人なのに 28 年度末の実績 14 人削減では紛らわしいと思います。施設入所には期限付きのものがあるので退所されると必然的に解消になりますが、それはベッドが空くことと同じではありません。この数値は誤解を招くのではないのでしょうか。

(藤井係長) 目標とするのは 0 人ですが、待機者もいるので減らすのは難しいためこのような設定です。基準となる 25 年度の 225 人と比べると現状 211 人になっています。リハビリで出られる人もいますが 14 人減ったのではなくもっと多くおりますし、入られる人もいますので差引の人数になります。紛らわしい表記でしたので改めたいと思います。

(丸山委員) 3 ページの利用実績について、利用者数が違うのではないかと思います。3 月時点比較ですが、例えば放課後等デイサービスについて 3 月は春休みで利用者が増えるので、平均的な数値や実態がわかる表記が良いのではないかと思います。3 月の利用者数と見た時に、例え 1 日利用しても 1 だし 23 日でも同じカウントならわかりにくいと思います。就労移行では市外からの利用もあるので、上越市だけの稼働率だと実態と合わないと思います。また計画相談は 3 月だけの数値だと思いますが、年間だと 1500 人くらいでその数値の方がまだ実態がわかると思います。

(藤井係長) ご意見ありがとうございました。放課後等デイサービスは実態を踏まえて考えていきたいです。市内の施設と市民の利用については範囲が違ってくるので検討します。相談件数についても検討します。

(藤田委員) 身体障害の手帳交付数が減少しているのはどう分析すればよいでしょうか。

(藤井係長) 各年代で全体的に減っているのですが、特段の事情はないと思います。

(横山委員) 手前味噌ではありますが保健指導の成果が表れてきているのではないのでしょうか。内臓疾患から起因して身体障害へなる人も多いのですが、保健指導の成果が少しずつ表れているのではと考えます。

(藤井係長) 続いて説明いたします。

(別紙資料P4～P6)の説明

(笠原会長) ありがとうございました。ここまでの事務局の説明について、ご意見・ご質問などがありましたら、挙手のうえ、ご発言をいただきたいと思えます。いかがでしょうか

(丸山委員) 5 ページの成果目標「2、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の精神病床における1年以上長期入院患者数の目標値設定は、どのように数値を出すのでしょうか。

(小林副課長) 市ではこの部分の数値を出せないのですが、医療機関と共に数値を把握していきたいと考えています。

(丸山委員) 計画は目標数値を出せば良いものではなく、どう達成していくのかが大事です。PDCAで見直しをしないと意味がないです。実態を伴う計画を立てられたら良いと期待しています。

(横山委員) 国の指針として「児童発達支援センターを市町村に1か所以上設置」とありますが、当市では以前から設置しておりました。国の指標と上越市の方針について次回も議論していきたいです。

(丸山委員) 今回から障害児の計画を入れなくてはならないのですが、健康福祉部としてどうしていくのか、上越市は今後どのような方向で行くのか議論していきたいです。

(八木部長) 健康福祉部として地域包括ケアを強化していきたいと考えます。それには医療との連携が必要だと思います。健常者含め障害者、高齢者、全ての方へアプローチできるものがワンセットで提供できたら良いですが現状では難しい部分もあるので今後も考えていきたいです。

(渡辺委員) 障害児の計画策定にあたり、具体的な実態を示して意見を頂きたいと思います。上越市ではインクルーシブの考え方です。同じステージで教育を受ける形が望ましいのかなと思います。また、こども発達支援センターも時代に合わせて変わって行きたいと考えています。

(新保委員) 3 ページの短期入所については、医療型の短期入所の数値ではないと思うのですが。

(藤井係長) 短期入所については医療型とそうでないものが混在しています。今後も手厚くしていかないといけない部分であると思います。

(山川委員) 6 ページに「ショートステイや日中一時預かり支援の充実」は障害のある方意識が変わってきているものと考えられるとあるが、調査した17歳以下の回答数が少なくなったからであり、意見が反映されているとは思えません。親の立場からすると卒業後の不安があります。地域に出ても環境が整っていない場合があるのです。インクルーシブ、合理的配慮、差別解消等と言われているが保護者の意識がそこまで向いていないように思います。親も勉強しないといけないと感じます。

(八木部長) データを前回と比べる為にこの方法でありましたがサンプルの取り方は無作為で抽出した方が良いのではと思います。次回以降は一般的に比較できるデータの取り方が必要かと思います。まだ差別解消はできていない現状を認めたくえで何ができるかということも含め、障害児の計画方針は事務局でも決まっていないので、現場の声を聞かせて頂けたらと思います。

(横山委員) アンケートの結果は全体的な意識であると思います。しかし先ほどご意見があったようにショートステイ等が足りているとは決して思っておりません。インクルーシブについては、子供の発達を促すのに良い環境を整えることが大事だと考えています。

(平原委員) センターだけでなく通所も相談事業もの機能を持った療育支援事業の展開もできるのではないかと思います。成人になって混乱しないような、親も安心できる体制を整えば良いと思います。卒業後の日中活動について生活介護や就労を受けられるのか等、学校とも連携して調査結果を頂けたら参考になると思います。

(藤井係長) 関係各所と調整したいです。支援学校との調査結果を踏まえてとのことでしたが情報収集していきたいと思いますので、記載方法を工夫したいと思います。

(難波委員) 5 ページの「4 福祉施設から一般就労への移行等」について「職場定着率を8割以上とする」と書いてありますが非常に厳しいと思います。

(笠原会長) 最後に、本日の会議全体を通じて、ご意見・ご質問などがありましたらご発言をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

(丸山委員) 6 ページの「今計画の理念と施策の柱」の空白の部分は、国の基本指針に沿って構成した方が良いのではと基幹での意見です。

(藤井係長) 基本的に国の指針はきちんと押さえて、さらに当市にとって何が必要かも踏まえて検討していきますし、これからもご意見を頂戴したいです。

(金井委員) 市が障害者の現状把握をどこまでできているのか疑問に思います。障害をもった方達を取り巻く状況がどう前向きに変わっていくかが問題だと思います。

(八木部長) 地域全体で支えあう、人々の暮らしやすいシステムにしていけるかに尽きます。データにしても出てこない障害者を取り巻く環境は承知のうえで、引き続き実効性のある計画を策定していきたいです。

(小林副課長) たいへん貴重なご発言を多数いただき、ありがとうございます。

続きまして、次第の 3、その他でございます。事務局から 1 点連絡がございます。次回の自立支援協議会につきましては、本日のご意見を踏まえて、課題を整理し、計画の柱などの方向性について事務局(案)を作成し、議論いただきたいため、時期については 8 月の下旬を予定したいと考えておりますが、正式な日程につきましては、事務局から改めて連絡をいたしますので、よろしく願いいたします

本日の会議は、これにて閉会といたします。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。

9 問合せ先

健康福祉部福祉課福祉係 TEL : 025-526-5111 (内線 1150)

E-mail : fukusi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。